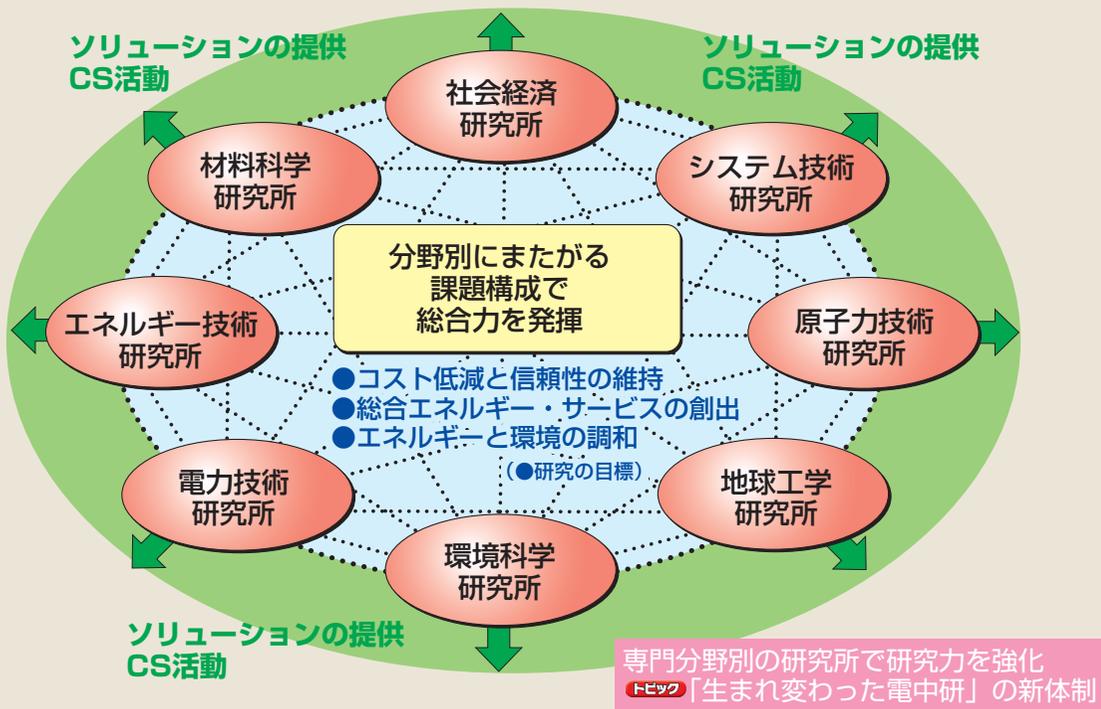


2004年4月、電中研は52年にわたる歴史に、
新たな軌跡を記すことになりました。
研究・試験機関を分野別に再編成。
いままで以上に競争力のある、社会に役立つ電中研をめざします。
「新生・電中研」をよろしくお願いします。



トピック 「生まれ変わった電中研」の新体制
——研究・試験機関の大幅な職制改正を断行、8研究所体制に——

トピック 電中研ホームページが4月1日からリニューアル！

CS 「教育支援」をCS活動として展開
——将来の社会を担う子どもたちにエネルギー・環境問題を認識してもらうために——

ひと 応用範囲が無限に広がるパターン識別技術
システム技術研究所 上席研究員 小野田 崇

イベント イベント情報 4月～7月

「生まれ変わった電中研」の新体制

——研究・試験機関の大幅な職制改正を断行、8研究所体制に——

2004年4月、電中研が大きく変わりました。昨年7月の本部などの組織改正に続き、研究・試験機関を8研究所体制に再編成しました。電力新時代を支える電中研をよろしくお願ひします。

■18年ぶりの大改革

電力自由化範囲の拡大、公益法人の改革など、当研究所を取り巻く環境の変化は大きく変わってきています。研究競争力を強化し、電気事業をはじめとして社会に役立つめざましい研究機関となるため、18年ぶりに研究・試験機関の編成と運営体制を大改革しました。

■研究力の強化

幅広い視野から電気事業や社会のニーズを発掘し、基礎から実用化にいたる研究開発を実施するために、当所のさまざまな専門性を再編成し、専門分野別の8つの研究所としました。それぞれの専門分野における基礎から応用まで一貫した研究企画推進力の強化を基盤とし、分野横断的課題に対しては、各研究所が連携して総合力を発揮します。

■柔軟な運営

お客様の要望を踏まえ、それぞれの能力を最大限に発揮し適切な研究開発が遂行できるように、従来の研究部制を廃止し、所長の裁量で改廃できる「領域」を置きました。また、職制上の職位を「研究職」と「スタッフ」に簡素化。研究所固有の研究課題と研究所間をまたぐ課題のマトリックス運営をめざします。

■わかりやすい編成

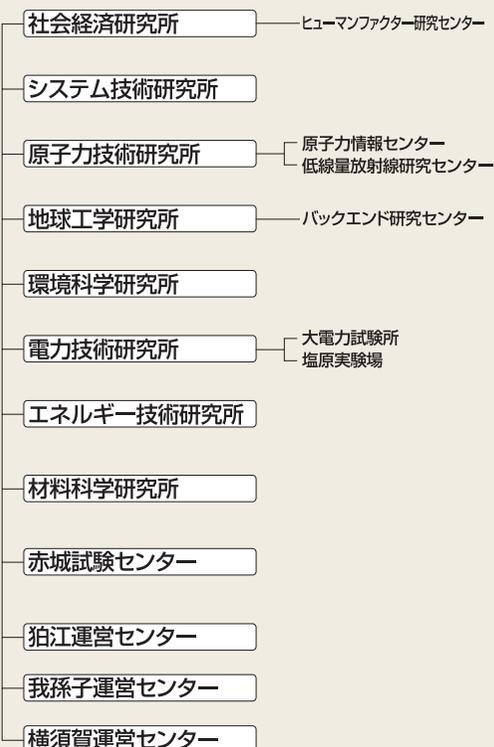
「知る人ぞ知る」ではなく、「見て、聞いて、誰もが活動内容をイメージできる」研究所の編成としまし

た。領域名称にも工夫を凝らし、コア・コンピタンスを明確にし、お客様が当所の研究活動をいっそうご理解しやすい名称としました。

■責任の明確化

研究所長は、プレーイングマネージャーとして、研究活動とCS活動に専心することになります。そして、狛江、我孫子、横須賀地区には、これまでの事務部に代わり、安全、環境、渉外、広報などを担当する「運営センター」を設置し、「地区内外のオペレーション&サービスセンター」としての役割を果たします。

研究・試験機関の組織図



トピック

電中研ホームページが4月1日からリニューアル!

当研究所のホームページが大幅に変わりました。日本語版・英語版ともにコンテンツを増やし、使いやすく魅力的なWebサイトをめざします。ぜひ、ご覧ください。

●日本語版

URL:<http://criepi.denken.or.jp/>

●英語版

URL:<http://criepi.denken.or.jp/eng/index.html>



(予定)

CS

「教育支援」をCS活動として展開

——将来の社会を担う子どもたちにエネルギー・環境問題を認識してもらうために——

社会貢献の一環として、2001年度から教育支援活動を積極的に展開し、長年培ってきた当研究所の研究成果を社会へ還元しています。私どもの取り組みは最新の学術的知見に基づいていること、提供情報が中立的であることなどで、教育界から高い評価をいただいています。このたび、当研究所の社会へのエネルギー・環境への理解促進に向けたこれらの活動や、研究所見学への対応などの社会貢献活動が高く評価され、「第13回エネルギー広報活動・広報施設表彰（主催：社会経済生産性本部）」で、「エネルギー環境教育情報センター運営委員長賞」を受賞しました。

今後も当研究所のCS活動の一つとして、着実に進めていきます。

3年間の教育支援活動実績

- ①教職員を対象とした研修会(教員研修会約50回、シンポジウムなど約20回を開催)
- ②インターネットなどによるエネルギー・環境教育のための情報発信(教材約60種、実験約20種、データベース約7000件を提供)
- ③我孫子市立および宮城村立中学校でのモデル校支援(約40回を実施)
- ④小、中、高校生へのエネルギー・環境問題の解説や実験サポート(約140回を実施)



東京都教職員への研修会



応用範囲が無限に広がるパターン識別技術

ハードに合わせた ソフトの開発が応用研究

機械に手書きの○と△を区別させると、どちらか判断に迷うグレーゾーンができます。正確に判断できるように、いかに形の違いを学習させるか、それにはどんなアルゴリズムを使えばいいのか…これがパターン識別技術で、これは「何にでも使える」と思っています。

たとえばライフスタイルが多様化する中で、家庭でどんな電化製品を何時ごろに使うのか、そのパターンがわかれば、供給者は最適な電気料金メニューを提案でき、需要家は電気料金コストを下げられ、双方にメリットがあります。でも、家の中に計測機を置くのは需要家にとって煩わしい。そこで、家電製品を使うとわずかに出る高周波のパターンをパターン識別技術を使って分析し、複数の機器が同時に動いても、何が動いているのかを測定できる装置をつくりました。パターン識別技術を組み込んだことで、この装置の性能は格段

に向上しました。

交流チャンネルを 増やす

今、注目しているのは「ブースティング（学習の加速）」というパターン識別のアルゴリズムで、基礎研究になります。パターン識別の学習性能や実用性を高める手法で、ドイツの研究所に派遣されたときに出会いました。日本で研究している人は少ないのですが、当研究所は先行的に取り組み、世界的にも高い評価を得ています。

この分野の研究を促進するため、情報交換の場の必要性を感じ、2000年に当研究所が事務局となり「boosting.org」というWebサイト*を開設しました。運営に携わる一人としては、トップランナーをめざし、これからも応用研究とともに基礎研究に力を入れていきます。

※<http://www.boosting.org/>



システム技術研究所
上席研究員
小野田 崇

CRIEPI イベント情報

2004年4月～6月

この春、電中研が開催するイベントをご紹介します。ぜひ、ご参加ください。
*詳細は当所のホームページをご覧ください。

エネルギー未来技術フォーラム「エネルギーの将来を考える」(無料)

- 日時・場所：広島/5月11日(火) 13:30～17:20 中国電力(株)本店2階大会議場
- 札幌/5月27日(木) 13:30～17:20 ホテルニューオータニ札幌「鶴の間」

お問い合わせ：広報グループ TEL：03-3201-6601 (先着順、無料)

赤城試験センター研究所公開(無料)

- 日時・場所：5月23日(日) 10:00～15:30 群馬県勢多郡宮城村苗ヶ島2567

お問い合わせ：赤城試験センター TEL：027-283-2721

第5回電中研：技術講座「IECプロトコルに関するセミナー」(有料)

- 日時・場所：6月3日(木)、4日(金) 大手町ビル7階

お問い合わせ：CS推進本部 CS推進部 技術セミナーチーム TEL：03-3212-0520

第4回ヒューマンファクターセミナー(有料)

- 日時・場所：6月10日(木) 10:00～16:20 コクヨホール

お問い合わせ：社会経済研究所 ヒューマンファクター研究センター 事務担当 TEL：03-3480-2111

■電気事業にかかわるおもな動き

- 1/13 原子力長期計画改定で「意見を聴く会」を原子力委員会が設置
- 2/10 電力系統利用協議会が発足
- 2/25 最終エネルギー消費のピークは2022年度と総合エネルギー調査会需給部会が試算
- 3/13 福井県が関西電力(株)のプルサーマル計画を了承する意向を表明



2004年4月1日発行

〒100-8126 (財)電力中央研究所 広報グループ
東京都千代田区大手町1-6-1(大手町ビル7階) TEL.(03)3201-6601 FAX.(03)3287-2863
<http://criepi.denken.or.jp/> E-mail: www-pc-ml@criepi.denken.or.jp

